

大学院 教育評価アンケート結果

2020年度 博士後期課程

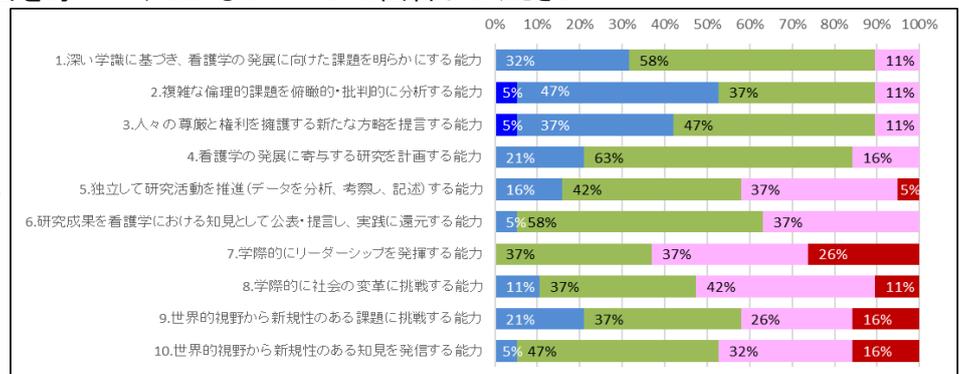
2020年度の博士後期課程(看護学専攻)の在學生(1~3年生)を対象とした教育評価アンケートは、新型コロナウイルス(COVID-19)感染症の影響を受け、Web調査に切り替えました。以下、在學生の調査結果についてご報告いたします。

■ 強く思う ■ そう思う ■ どちらともいえない ■ そうは思わない ■ 全くそうは思わない ■ 無回答

I. 現時点であなたが以下の項目を身につけているかについて回答してください

博士後期課程(看護学専攻)において現時点で身につけている能力として、在學生の4割以上が「強く思う」「そう思う」と回答した項目は、10項目のうち2項目でした。

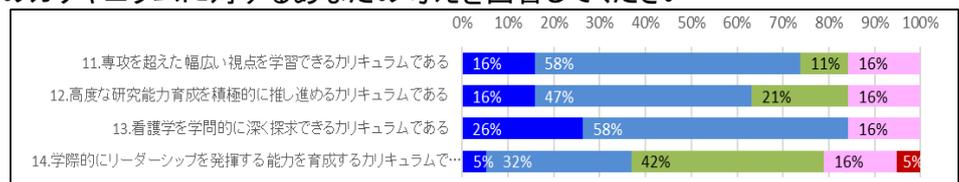
そのうち、「複雑な倫理的課題を俯瞰的・批判的に分析する能力」(52%)と「人間の尊厳と権利を擁護する新たな方略を提言する能力」(42%)は「DP2. 人々の尊厳と権利を擁護するために、複雑な倫理的課題を俯瞰的・批判的に分析し、新たな方略を提言する能力」に対応しています。



II. 本学大学院(博士後期課程)のカリキュラムに対するあなたの考えを回答してください

博士後期課程(看護学専攻)のカリキュラムの受け止めについて、7割以上の在學生が「強く思う」「そう思う」と肯定的に評価した項目は、4項目のうち2項目でした。

看護学を学問的に深く探求でき、専攻を超えた幅広い視点を学習できるカリキュラムであると評価されています。



III. 大学院における以下の内容に関する満足度を回答してください

本学大学院への満足度として、博士後期課程(看護学専攻)の在學生の8割以上が「強く思う」「そう思う」と肯定的に評価した項目は、24項目のうち7項目でした。

学問分野の専門家として優れた教員や、学生を尊重する教員、教育や研究、実践に対して熱意を持った教員、人間的な魅力のある尊敬できる教員が多いことが評価されています。また、主体的に学べる授業が多いことや教員による個別指導の充実さ、窓口対応のスムーズさが評価されています。

